

氏名	横 田 憲 治
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3228号
学位授与の日付	平成10年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	IgA Protease Produced by <i>Streptococcus sanguis</i> and Antibody Production against IgA Protease in Patients with Behçet's Disease ( <i>Streptococcus sanguis</i> の産生するIgA プロテアーゼと ベーチェット病患者におけるIgA プロテアーゼに対する 抗体産生)
論文審査委員	教授 中山 睿一 教授 山田 雅夫 教授 槇野 博史

### 学位論文内容の要旨

ベーチェット病 (BD) 患者より分離した12株の *Streptococcus sanguis* のIgAプロテアーゼ産生を調べた。プロテアーゼ活性は12株中10株に認められた。この株 (113-20) から Rotofor と DEAE-Sephacel を用いてプロテアーゼを精製した。精製されたIgAプロテアーゼは、分子量100kDaで、IgAのproline-theonine 結合部を切断した。更に、113-20株の菌体とプロテアーゼに対する抗体価を、BD患者と健康人で比較測定した。IgG抗体価は両者に差がなかったが、菌体とプロテアーゼに対するIgA抗体価はBD患者で高値を示した。これらの結果よりIgAプロテアーゼを産生する *S. sanguis* がBD患者には多く存在し、かつ、これらの菌に対する抗体が高いことが判明した。それ故これらのIgAプロテアーゼ産生性 *S. sanguis* は患者口腔内に長く生存し、そのプロテアーゼ活性により、患者からは菌を効率的に排除されないということが考えられた。

### 論文審査結果の要旨

本研究は、ベーチェット病患者の口腔内細菌叢で増加している *Streptococcus sanguis* について、その性質および患者の抗体価を検討したものである。その結果、患者群ではIgAプロテアーゼを産生する *S. sanguis* が多く、また菌体とプロテアーゼに対するIgA抗体価が高値であることを認めた。これらはベーチェット病の病態についての重要な知見であり、価値ある業績であると認める。よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。